

町の振興

人口9561人今後の施策は 各課が施策協議し実行する



やの しょうぞう
矢野 昭三 議員

問 今後の施策を始め熊井、伊与喜、佐賀へ企業誘致の用地調査の取り組み、佐賀インター完成時の産業、定住の見通しや一次産業の活性化を問う。

答 村越企画調整室長

総合戦略で目標人口2060年度6800人程度維持。各種産業の振興、市場開拓、医療、地域福祉の充実、高齢者支援の在り方、子育て支援等の目標を定めている。目標が達成できるよう施策を協議し実行してまいります。

高齢者の暮らし 75歳以上の老々介護37%対策は 関係機関連携し家族負担軽減

問 令和7年度厚労省調査、75歳以上老々介護37%。黒潮町の現状と今後の施策を問う。

答 野村健康福祉課長

65歳以上の高齢者のみの世帯は229世帯266人。町は、高齢化率が47・1%と全国平均を上回っている。老々介護の世帯における介護負担は重要な課題であると認識

交通安全 横浜トンネル南の交差点信号矢印等を 関係機関と協議する

問 高齢者等が右折する際の安全に信号矢印や車両通行帯を設置するよう関係機関へ要望するか問う。

している。既存の介護保険に加え、あったかふれあいセンターも活用、関係機関が連携しながら家族介護の負担軽減に対応したいと考えております。

答 河村地域住民課長

矢印式の信号機の設定について利用者が安全に通行できるよう9月18日に中村警察署へ要望を行う予定をしております。



国道56号横浜トンネル南側交差点

道路整備 拳ノ川インター！ 不破原間改良は 関係機関と連携協議を行う

問 用地を買収せずとも拡幅可能な2箇所を確認した。国土交通省へ要望すると答弁があったが改良見通しを問う。

答 深木建設課長

四国地方整備局へ不破原地区における譲り車線の整備について要望書を提出している。又、11月に国土交通省へ要望を行う予定となっております。

問 県道中土佐佐賀線塩屋の浜の東側の落石及び高波対策並びに、う回路整備を問う。

答 深木建設課長

県は、落石対策として一部防護柵を設置していますが、高波対策は行っていない。補強などの改良を実施し安全性を高めていくよう県に要望していきたい。

迂回路町道は落石等が多いので、維持管理も多めに回っている状況。辺地に対する対応は行っている状況であります。